

# 東北フォーラム2021 in やまがた ～この仕事の夢・喜びを東北から発信～

## 開催要項

### ◆目的

知的障がいのある皆さまの支援に携わる私たちは今、新型コロナウイルス感染予防のための行動変容と新しい生活様式の実践の真只中にあります。

しかしながら、生活様式や支援方法がいかに変わろうとも、私たちは知的障がいのある本人に寄り添い、言葉のない方の想いを探り、わずかな表情の変化からニーズを見出し、想いを叶え、人生を謳歌するための様々な方法を探し出しながら支援を行う姿勢に変わりはありません。まさにそれは、「本人の夢や希望や想い(ニーズ)を見出し、実現するための創意工夫を凝らした取り組み」であり、私たちの「喜び」や「やりがい」「想い」もそこにあります。

これまでのフォーラムでは、それらの「喜び・やりがい・誇り」を東北地区の仲間と共有・共感し、この仕事の魅力を発信してきました。コロナ禍でも、コロナ禍だからこそ、仲間とのつながり、それぞれの想いの発信・実現の場が必要です。オンラインと集合型の研修を同時に行う新しい研修の形の中で、東北の福祉の力を結集しましょう。

◆主催 東北地区知的障害者福祉協会 山形県知的障害者福祉協会

◆協賛 山形県知的障害児者生活サポート協会 株式会社ジェイアイシー南東北支店

◆期日 令和3年11月1日(月)～2日(火)

◆会場 ① 山形市 山形テルサ(来場の参加者)

〒990-0828 山形県山形市双葉町1-2-3

TEL 023-646-6677

② Zoom ミーティングによるライブ配信(オンラインの参加者)

※新型コロナウイルス感染予防のため、県境をまたぐ移動がないよう開催準備を進めております。そのため、会場①は山形県内に在住の方、会場②は山形県外に在住の方および山形県内に在住で移動が困難な方を想定しております。ご協力のほど何卒よろしくをお願いいたします。

なお、Zoom ミーティングの詳細(ID やパスワード等)については、申し込み締め切り後に改めてご案内いたします。

◆参加 東北地区知的障害者福祉協会会員施設職員、関係機関、障がい児者のご家族、福祉関係養成学校の教員、学生、本研修会に興味のある方

◆定員 300人（来場参加、オンライン参加合わせて）

◆日程

1日目：11月1日（月）

時間	内容
12:00～	受付開始
13:00～	オープニングセレモニー “花笠音頭” はながさおんど 山形大学花笠サークル 四面楚歌 開会あいさつ 東北地区知的障害者福祉協会 会長 井上 博 東北フォーラム2021in やまがた実行委員長あいさつ
13:20～	製品アピール 通信販売出店事業所の製品のご紹介
14:00～	分科会（3つの分科会の中から、2つを選択）
14:00 ～ 15:30	第1分科会 みんなで考える、みんなが変わる。 ～山形県知的障害者福祉協会 支援力向上研修の取り組みについて～
<入替>	第2分科会 心と体はつながっている。 表現しながらコミュニケーション
15:50 ～ 17:20	第3分科会 自分の気持ちを見える化し、大いに創造しよう！！ Talk Tree WORKSHOP 「トーク・ツリー・ワークショップを用いて」
17:20	一日目終了

2日目：11月2日（火）

09:00～	講演 「ヘラルボニー共生を超え異彩を、放て。」 講師 松田 文登 氏 （株式会社ヘラルボニー 代表取締役副社長）
10:40～	青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島6県から“想いの発信”
11:50～	生活サポート総合補償制度について 株式会社ジェイアイシー南東北支店 閉会式 東北フォーラム2021in やまがた実行委員 あいさつ 次期開催県 あいさつ

## ◆大会プログラム

一日目：11月1日（月）

- 12:00～【来場参加者 受付開始】  
12:30～【オンライン参加者 Zoom ミーティングの受付開始】
- 13:00～13:40【開会式】【製品アピール等】
- 13:40～【分科会①受付開始 来場参加者の受付 ・ Zoom ミーティングの受付
- 14:00～15:30【分科会①】
- 15:30～【分科会②受付開始 来場参加者の受付 ・ Zoom ミーティングの受付
- 15:50～17:20【分科会②】

※今回のフォーラムは、来場の参加者の研修とオンラインの参加者の研修を同時に行う研修会となっております。①14:00～15:30、②15:50～17:20の時間帯で、それぞれ3つの分科会の中から一つを選び、参加していただく予定です。

3時間の中で、2つの分科会に参加できますので、2つお選びください。

### 第1分科会 《「みんなで考える、みんなが変わる」

～山形県知的障害者福祉協会支援力向上研修の取り組みについて～》

講師 社会福祉法人愛泉会 向陽園 園長 村井 弘伸 氏

支援現場では、多様な障害特性、ニーズを持たれた方が増え、日々、創意工夫を凝らし実践されていると思います。実践の中で、本人（利用者）の想い、行動が理解できず、戸惑い、悩むことも多いのではないのでしょうか？現場の最前線で活躍する支援者を対象に、長野県で自閉症支援セミナーとして実施していた取り組みを山形県知的障害者福祉協会では「支援力向上研修会」として平成26年から2年1期で実施してきました。継続的に支援の検討を行う研修方式が、支援の質を高め、施設・事業所の意識改革を進め、結果として本人の幸福への近道であること、支援の中心を本人に据え、行動の背景にあるニーズ、本当の想いを探り常に肯定的に行動を評価する支援方法を実践発表とともにこの分科会でお伝えします。

### 第2分科会 《心と体はつながっている。表現しながらコミュニケーション》

講師 La・シヴァ（山形心体表現の会）代表 渡邊 京子 氏

副代表 伊藤 美和 氏

La・シヴァ メンバー

表現することに、障がいの有無や年齢、国籍、性別は関係ない。

ダンスという切り口から、コミュニケーションや関わりとは何かを感じながら支援に生かせるヒントを見つけていきましょう。

障がいのあるなしに関わらず、"1人ひとりの多様性と、「ここに在る」ということを大切にしたい"という想いを共有しましょう。

第3分科会 《自分の気持ちが見える化し、大いに創造しよう！！

Talk Tree WORKSHOP「トーク・ツリー・ワークショップを用いて」》

講師 おおきな木 代表、

一般社団法人Talk Tree 代表理事 加藤 未礼 氏

皆さん「トーク・ツリー・ワークショップ」をご存じですか？一つのチームや一人の人を「木」に見立て、自分たちの働き始めた時に持っていたやる気や想い、現在の想いを確認します。更に未来への可能性を発見するためのワークショップです。これからの利用者への支援のため、今の自分の気持ちを確認し、自分の「核となる軸」を再確認しましょう。

今回は、講義（トーク・ツリー・ワークショップの説明等）とグループワークを通じて、自分の気持ち（想い）の整理、リフレッシュし、研修終了後から自分がやるべきことが見える研修です。

二日目：11月2日（火）

●9：00～10：30【講演】

講演 「ヘラルボニー 共生を超え異彩を、放て。」

講師 松田 文登 氏（株式会社ヘラルボニー 代表取締役副社長）

「異彩を、放て。」をミッションに、福祉を起点に新たな文化を創ることを目指す福祉実験ユニット。日本全国の障害のある作家とアートライセンス契約を結び、2,000点以上のアートデータを軸に作品をプロダクト化するアートライフブランド「HERALBONY」、建設現場の仮囲いに作品を転用する「全日本仮囲いアートミュージアム」など、福祉領域の拡張を見据えた多様な事業を展開。日本を変える30歳未満の30人「Forbes 30 UNDER 30 JAPAN 2019」受賞。2020年「環境大臣賞」受賞。

株式会社ヘラルボニー HP < <https://www.heralbony.jp/> >

福祉を起点に、そして福祉のボーダーを超え、新たな文化をつくりだしてこられた想い、喜び、やりがい、誇り…についてお話しいただきます。

● 10:40～11:50【東北各県からの発信】

**山形県** テーマ「やまがた魅力再発見！」

山形の伝統文化、おいしい食べ物、四季折々の美しい風景、観光資源、山形に生きる魅力ある人々を「福祉」とともにご紹介します。映像を見ながらオンラインで旅行気分を味わい、福祉のしごとの素晴らしさ・やりがいを体感してください。今のあなたへ、そして未来のあなたへ、山形の地からたくさんの笑顔とともにエールを送ります！

**秋田県** テーマ「コロナ禍の楽しみ方 ～コロナ禍を楽しもう～」

指定障害者支援施設 合川新生園 支援主任 佐京 寛法 氏

「レッツエンジョイ」職員にコロナ禍での楽しみ方（アイデア）を伺い、実施することでご利用者の生活に潤いを持っていただきたい。

その想いや取り組みを紹介します。

**青森県** テーマ「いまコロナ禍で出来ないけれど、コロナ感染が収まったら  
してみたいこと ～あんなこと、こんなこと～」

新型コロナウイルスの感染が全国に広がって2年。いつも出来ていた当たり前が変わってしまい、色々なことを我慢しなければならない毎日です。新型コロナウイルスが終息したらしてみたいことに想いを馳せ、先が見えない中でも、これからの生活に希望を持ち、この苦しい時間を乗り越え、今の状況の中でも出来ることは何か。少しでも前向きに暮らしていけるようなメッセージを発信します。

**岩手県** テーマ「湧き上がる衝動を語形に ～ボーダレスを目指して～」

岩手県の支援スタッフ部会所属施設における、ボーダレスアートの取り組みと、関わる職員の笑顔・情熱・内なる衝動・アートへの目覚めをご紹介します。人の表現が持つ根源的な魅力を感じて下さい。

**宮城県 テーマ「新たな発見」～コロナ過だからこそ・・・～**

未だに終息しない新型コロナウイルス感染症。様々な制限がある中でも、我々の仕事は日々続く。立ち止まることはできない…。職員も日々様々な想いを胸に抱き、葛藤し、迷いながらも利用者と日々向き合っている。利用者はもっと辛いはず…。

コロナ過だからと暗く考えるより、こんな時だからこそできたこと、利用者の新たな発見や気づいたこと、工夫して「できない」から「できた」こと。

**福島県 テーマ「仕事の意義」～何を原動力で行なっているのか～**

仕事の流儀、その人のやり方、自分の筋、なぜこの仕事をやっているのか？ 仕事のやりがい、人それぞれ考え方は違う、色々な方の意見を聞いてみたい。

**●11:50～12:10【閉会式】**

次期開催県 福島県知的障害者福祉協会あいさつ、東北6県実行委員あいさつ

- ◆**参加費等**
- ① 来場の参加者 参加費5,000円
  - ② オンラインの参加者 参加費3,000円
  - ③ 福祉関係養成校等学生（オンライン参加） 参加費 無料

◆**申し込み締め切り** 令和3年10月8日（金）必着

◆**参加申し込み**

別紙申込案内に記載してある、専用 URL より Web にてお申込みください。

電話・FAX でのお申込みはありません。

申込み・お問合せ先：

名鉄観光サービス株式会社 仙台支店

〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央 4-10-3 仙台キャピタルタワー6階

TEL 022-227-3611 FAX 022-261-4623

担当：志賀・植松

◆**問い合わせ** 東北地区知的障害者福祉協会 事務局（担当 やつやなぎ 八柳）

〒990-0033 山形県山形市諏訪町1丁目2-7

TEL 023-674-8652 Fax 023-674-9853